

令和6年度 勝浦町地球温暖化対策実行計画に基づく措置の実施状況について

勝浦町は、令和元年度に「勝浦町地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。計画は、役場で実施する全ての事務・事業について、温室効果ガス排出量削減の取り組みを行い、地球温暖化対策を推進するものです。

1 対象施設

表1 二酸化炭素排出量 単位: kg-Co2

年度 種別	令和5年度 (基準年度)	令和6年度
ガソリン	29,163	26,959
灯油	2,853	2,630
軽油	10,896	10,270
A重油	37,538	39,270
LPガス	4,874	5,268
電気	573,081	590,997
合計	658,405	675,394
増減率		2.58%

年度 種別	令和10年度 (目標)
ガソリン	26,538
灯油	2,568
軽油	9,806
A重油	34,160
LPガス	4,435
電気	516,076
合計	593,583

表2 燃料消費量

年度 種別	令和5年度 (基準年度)	令和6年度
ガソリン年間消費量(単位:L)	12,570	11,773
灯油年間消費量(単位:L)	1,141	1,052
軽油年間消費量(単位:L)	4,159	3,920
A重油年間消費量(単位:L)	13,650	14,280
LPガス年間消費量(単位:m3)	1,630	1,762
電気年間消費量(単位:kwh)	1,270,687	1,319,191
増減率		3.82%

表3(参考) 二酸化炭素排出係数

年度 種別	令和5年度 (基準年度)	令和6年度
ガソリン	2.32	2.29
灯油	2.50	2.50
軽油	2.62	2.62
A重油	2.75	2.75
LPガス	2.99	2.99
電気	0.45	0.45

令和6年度の二酸化炭素排出量の結果は表1のとおりとなり、基準年度から約2.6%増加しています。

ガソリン、灯油など基準年度よりも減少しているものもありますが、A重油、LPガス、電気は基準年度より増加しているため、より一層の削減努力を徹底し、地球温暖化対策の取組を進めてまいります。

また、令和6年度の燃料消費量の結果は表2のとおりとなり、基準年度から約3.9%増加しています。

電気の消費量については、街路灯の使用量削減及び施設の維持管理による稼働時間の削減等により、使用量の削減に向けて努力していますが、昨今の驚異的な猛暑等による各施設でのエアコン使用量及び使用期間が増えたことにより増加しています。

職員等の体調管理に十分留意しながら服装での体温調節の呼びかけなど、節電を徹底してまいります。

2 指定管理施設及びその他の施設

表1 二酸化炭素排出量 単位:kg-Co2

年度 種別	令和5年度 (基準年度)	令和6年度
ガソリン	7,085	7,800
灯油	313	753
軽油	1,106	967
A重油	25,300	53,625
LPガス	5,334	4,747
電気	222,957	255,096
合計	262,095	322,988
増減率		23.23%

年度 種別	令和10年度 (目標)
ガソリン	6,377
灯油	282
軽油	995
A重油	22,770
LPガス	4,801
電気	200,661
合計	235,886

表2 燃料消費量

年度 種別	令和5年度 (基準年度)	令和6年度
ガソリン年間消費量(単位:L)	3,054	3,406
灯油年間消費量(単位:L)	125	301
軽油年間消費量(単位:L)	422	369
A重油年間消費量(単位:L)	9,200	19,500
LPガス年間消費量(単位:m3)	1,784	1,587
電気年間消費量(単位:kwh)	494,364	569,409
増減率		15.18%

表3(参考) 二酸化炭素排出係数

年度 種別	令和5年度 (基準年度)	令和6年度
ガソリン	2.32	2.29
灯油	2.50	2.50
軽油	2.62	2.62
A重油	2.75	2.75
LPガス	2.99	2.99
電気	0.45	0.45

令和6年度の二酸化炭素排出量の結果は表1のとおりとなっており、基準年度から約23%増加しています。全体的に基準年度を上回っているため、積極的な地球温暖化対策の推進が求められますので、指定管理者への情報提供等も行いながら、二酸化炭素排出量削減に向けて努力を進めてまいります。

また、令和6年度の燃料消費量の結果は表2のとおりとなっており、基準年度から約15%増加しています。灯油消費量については、厳冬の影響により冬季のストーブの使用回数が増えたことに伴い、給油量が増加しています。A重油や電気の消費量については、各指定管理施設の設備の不調や漏水に伴う稼働日数の増加により大幅に増加しています。

令和6年度は不測の事態により各エネルギーの消費量及び合計消費量が増加してしまいましたが、今後もこれまでの取組の継続はもちろん、より一層エネルギー消費量を削減できるよう努力してまいります。